

# さらに入スト体制強化を

## 全支部で職場集会 3/21-3

津田沼支部

木更津支部

勝浦支部

三月三日、職場集会を開催。集会を妨害するためにウロつく当局に対し、「指導訓練は運転保安を第一に考えろ」「予備勤務時に鉄道労連だけ優遇するのはおかしい」をはじめとした不当な職場支配に対し、説明を求める。集会は、小倉副支部長の司会で始まり、清算事業団闘争勝利、反合・運転保安確立にむけてスト体制を強化することを確認

三日に、検修関係を中心に職場集会、乗務員関係には個別オルグを齋藤支部長を先頭に支部執行委員、本部外山執行委員が中心になって行う。われわれのストライキを背景とした闘いがJR当局を追い詰め、一定の要求が前進したこと、支部の先頭で闘い抜いた職場抵抗闘争を強化し、強制配転者の原職奪還に向けて闘い抜くことを確認。

三日に集会を開催。加田書記長の司会で集会が始まる。まず水野副委員長より支部代報告。組合員からは「一年が取れない」等の意見が出された。最後に「ストライキは今度は運転だ。次の闘いに向けて頑張る」ことを確認。

書記長の「解雇者、清算事業団、強制配転者を取り戻す闘いを強化しよう」とのあいさつで始まり、白井支部長代行の支部代報告がおこなわれ、続いて本部山田執行委員より「スト体制を強化しよう」との訴えがあった。

とらえ全力で奮闘する。みなさんもガンバッテほしい」と訴える。また、解雇者を代表し本部内山執行委員があいさつし、組合員から当局の不当な労務政策に対する怒り、不満が続出する。「千葉転支部は清算事業団闘争勝利をめざし、運転のストに起つ」ことを全参加者が確認した。

新小岩支部はこの間、二回にわたる「八九・三」ダイヤ検討委員会、二月二三日乗務員分科定例会、二月二五日支部委員会を開催。「八九・三ダイヤ改」攻撃、二名の乗務停止された組合員への処分攻撃に対し、怒りが集中し、ストライキで反撃するべきだとの意見が集中する。とりわけ、二名の組合員へのみせしめめ分的処分は、貨物会社そのものが慢性的に要員不足のために強制配転や指導員をも減らし、本線乗務員へと下ろし

ている現状にもかかわらず、長期にわたる乗務停止処分のおかげに、乗務復帰問題の際に関東支社、現場当局も何ら責任をとろうとはせずダイヤ回しにしたことに対し、組合員の怒りに火をつけたのだ。そうした怒りのスト体制を背景に「八九・三ダイヤ改」は一定の前進をかちとり大筋集約したが、闘いはこれからである。新小岩支部はスト体制強化をかちとる闘いに決起している。

不当な攻撃には、ストで反撃を！

動力千葉  
 結成十周年  
 3・26  
 三里塚  
 三里塚と共に、血を流し、涙を流し、そして勝利した十年！  
 徹底的